

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2006-81032(P2006-81032A)
 【公開日】平成18年3月23日 (2006.3.23)
 【年通号数】公開・登録公報2006-012
 【出願番号】特願2004-264644(P2004-264644)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 29/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 13/00 3 0 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月17日 (2010.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

前記ヘッダ生成手段は、

T C P ヘッダを 1 ヘッダ毎に生成する T C P ヘッダ生成手段と、

U D P ヘッダを 1 ヘッダ毎に生成する U D P ヘッダ生成手段と、

I P ヘッダを 1 ヘッダ毎に生成する I P ヘッダ生成手段と、

M A C ヘッダを 1 ヘッダ毎に生成する M A C ヘッダ生成手段とを有し、

前記プロトコル制御手段は、前記 T C P ヘッダ生成手段、前記 U D P ヘッダ生成手段、前記 I P ヘッダ生成手段及び前記 M A C ヘッダ生成手段にヘッダの生成指示を出力することができるとを特徴とする請求項 1 記載の通信制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

通信制御装置が行う通信制御方法であって、

フレーム生成に必要なヘッダ生成情報を収集し、ヘッダ生成指示及びヘッダ生成情報をフレーム毎に出力するプロトコル制御ステップと、

前記ヘッダ生成指示及び前記ヘッダ生成情報を入力すると、ヘッダを 1 ヘッダ毎に生成し、ヘッダ生成完了通知を出力するヘッダ生成ステップと、

前記ヘッダ生成完了通知を入力すると、前記生成されたヘッダ及びフレーム単位のペイロードをフレームとして合成するヘッダ / ペイロード合成ステップとを有することを特徴とする通信制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、本発明の通信制御方法は、通信制御装置が行う通信制御方法であって、フレーム

生成に必要なヘッダ生成情報を収集し、ヘッダ生成指示及びヘッダ生成情報をフレーム毎に出力するプロトコル制御ステップと、前記ヘッダ生成指示及び前記ヘッダ生成情報を入力すると、ヘッダを1ヘッダ毎に生成し、ヘッダ生成完了通知を出力するヘッダ生成ステップと、前記ヘッダ生成完了通知を入力すると、前記生成されたヘッダ及びフレーム単位のペイロードをフレームとして合成するヘッダ/ペイロード合成ステップとを有することを特徴とする。